
「救命救急センターに搬入される持込み褥瘡患者における早期発見に関連した要因の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年4月1日～2024年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター救命初療室・救命棟1階ICUに搬入された患者さんの中で、搬入時に褥瘡を保有していた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

高度救命救急センター救命初療室では、搬送された重症患者さんに対して全身観察、初期治療、画像検査を速やかに実施し、病態によっては緊急手術や創処置を行なっています。自力での体動が困難な患者さんも多く、搬入時にすでに褥瘡を保有している事も少なくありません。しかし、生命危機状態の患者さんに対して、救命のための治療が優先されるため、持込み褥瘡の発見が遅れることがあります。そのため、初療室ではなくICUに入院後に発見されることもあります。

そこで本研究では、診療録から持込み褥瘡の早期発見の関連要因を抽出し、持込み褥瘡の早期発見、早期治療介入することを目的としました。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年10月3日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター救命初療室・救命棟1階ICUにおいて、研究分担者である高橋 誠一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

持込み褥瘡と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター 救命棟 1階 ICU 看護師 工藤 章能(研究責任者)
- ・埼玉医科大学総合医療センター 救命棟 1階 ICU 看護師 今 大和
- ・埼玉医科大学総合医療センター 救命棟 1階 ICU 看護師 田名部 芳尚
- ・埼玉医科大学総合医療センター 救命棟 1階 ICU 看護師長 高橋 誠一

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

埼玉医科大学総合医療センター

高度救命救急センター 救命棟 1階 ICU 工藤 章能

TEL:049-228-3597(直通) (平日 8時～15時)

○研究課題名:救命救急センターに搬入される持込み褥瘡患者における早期発見に関連した要因の検討

○研究責任者:埼玉医科大学総合医療センター・高度救命救急センター 救命棟 1階 ICU 工藤 章能